

戦争 NO 改憲反対

「9条は世界をつなぐパスポート」

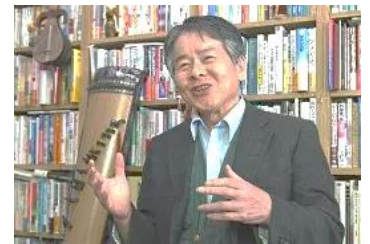
20周年記念のつどい「伊藤千尋さんの講演」を開催します

西神ニュータウン9条の会は、今年設立20周年を迎えます。2006年西神ニュータウンに住む有志が「この街に戦争はいらない。そしてどの街にも戦争はいらない」と声をあげ発足しました。この設立は2005年、大江健三郎、小田実、井上ひさしさんなど文化人の呼びかけに応じたものです。その後全国に「9条の会」

が続々と誕生しました。西神9条の会もこの20年、地域に密着しくらしに憲法をいかに9条をめざす平和への取り組みを展開してきました。

5月16日(土)開催の「20周年記念のつどい」は、オープニングに李亜輝&アジサイ合奏団による二胡演奏と国際ジャーナリストの伊藤千尋さんの講演を予定しています。伊藤さんは、元朝日新聞の記者で世界の各地を取材されてきました。ベネズエラの政変、チリ軍事政権、ベルリンの壁、9.11テロなど現場に直接赴きその実像を報道してきました。また国内外の「9条の碑」にも積極的に参画されています。

いま世界では、核大国の独裁者が、国際法を無視し自国の利益のみを追求し侵略戦争を繰り返しています。日本でも近隣諸国との緊張を軍事拡大に利用する自民・維新政権が「戦争をする国」への道を突き進んでいます。



戦後80年が経過し、これからも平和を維持していくにはどのような道を選択していくべきなのか。伊藤さんの講演は平和憲法9条の役割を改めて考える機会です。

3月以降全国各地で戦争NO・改憲反対・9条守れ・武器輸出の禁止などの緊急集会が連続して開催されています。若者や現役世代のひとたちも街で声をあげています。



混迷する状況の中で、先の戦争による内外の多くの戦死者の叫びを想い、平和のバトンを未来の世代につなぐのは今を生きるわたしたちの役割なのです。

9条は自国のみならず世界の平和のためのグローバルな理念であり平和へのパスポートなのです。

(文責・大西)

◆20周年 第18回記念のつどい

5月16日(土) 西区文化センター2階 なでしこホール
13:30開演 前売り券チケット1000円(当日券1200円)

～つどいの成功にむけてチケットをひろめて下さい～

前売り券(1000円)をお届けします。ご希望の方は
島田(090-5137-6837) 大西(090-3359-0776)まで連絡下さい。

◆6月のつどい

6月21日(日) 14:00～
西区文化センター
2階第1会議室

※内容については次号でお知らせします。

Act Now 1(イチ)の日行動にご参加を!

★毎月一回、西神中央駅前「改憲No! 九条 壊すな!」のアピール行動を続けています

★次回は2026年6月1日(月)16:00～17:00

なかなかメディアが報じませんが、東京などでは連日のように「戦争国家」作りに反対する集会・デモが行われています。東京在住のKHさんに様子を伝えてもらいました。(樫野台 KH)

国会前に輝く新しい希望の光

高市政権は、戦争の時代に突入した世界情勢と高支持率を背景にして、大軍拡や長射程ミサイル配備など「戦争国家」体制づくりを突き進め、遂には憲法改正にまで手をつけようとしています。

そんなウンザリするような情勢の中、国会前には戦争反対や憲法守れの声をあげるために、多くの人が集まっています。3月19日の「19日行動」に11,000人、3月24日の米国のイラン攻撃への抗議デモには24,000人、4月8日の平和憲法を守るための緊急アクションには30,000人、4月19日の「19日行動」には36,000人も参加がありました。

いま国会前で広がっているデモは、これまでのデモと大きく様相が異なっています。何より参加者の年齢層がとても若く、20～30代のしかも女性が目立って多いです。群衆にたなびく組合や団体の旗は少なく、組織的になつながらの個人による参加が広がっていることも特徴でしょう。

また、デモのスタイルも自由です。多くの参加者は色とりどりのペンライトを持って、さながらアイドルのライブで「推し」を応援するかのよう「憲法守れ」のコール(シュプレヒコールのこと)をあげています。日没後の国会前はペンライトの煌びやかな光が広がっています。

こうした新しい国会前デモを「ごっこ遊び」などと攻撃する自民党議員もいますが、それだけ無視できなくなってきたということでしょう。国会前で広がる新しいデモの景色は、憲法を守るための希望の光です。この光をもっと広げていきたいですね。

再審法改定とは？

=袴田事件を再び起こさせないために=

死刑囚として半世紀も獄中に閉じ込められ、えん罪とたたかい続けた袴田さんの事はご存知だと思います。

この事件は1966年清水市で4人が刺殺され、従業員の袴田さんが逮捕されました。彼は1980年に死刑が確定しましたが、自白と証拠に矛盾が多く、2014年静岡地裁が再審開始決定をしました。しかし、検察官が不服申し立て(抗告)を行い、東京高裁は再審開始決定の取り消しを行いました。その後、裁判闘争の中で2024年に無罪が確定しました。この事件から、多くの国民がえん罪を晴らすために、「58年という長い年月と被害者の人生が奪われた」という人権無視の実態を知ったと思います。そして、何故こんなに時間がかかるのか、この再審制度を見直す機運が高まりました。

今、国会で政府による刑事訴訟法の改定案(再審法)が審議されています。しかし、改定案には、「検察官の抗告の全面禁止」(EUの国などでは禁止)という根本的規定がありません。また、捜査機関の持つ証拠を全面開示する必要がありますが、政府案には証拠開示に制限を付けています。これでは、現状より後退の内容となっており、支援活動がより困難になる恐れもあります。

超党派の議員連盟がまとめた「抗告禁止」の改正案を今国会で審議し、成立させることが必要です。

ところで、えん罪事件の支援を行っている国民救援会・神戸西区支部が再審法改正を目指し、「名張毒ぶどう酒事件」の死刑囚の生涯を描いた「約束」という映画(仲代達矢主演 東海テレビ放送制作)を5月30日(土)、西区文化センターで2回上映します。

人権無視の裁判制度を変えさせるきっかけとして、この映画の上映成功にご協力ください。(島田)

ジョー句

お題「儘(まま)ならず」

ままならぬ 言っておられぬ 温暖化(伝伝)

自由題

ぶっちゃけ 9条だけが 頼りだよ(自衛隊員)

キラキラの ネイル見とれて 釣忘れ(骨歩)

6月のお題は「更衣(ころもがえ)」

y-onishi@live.jp

投句をお待ちしています。



2026年5月発行：西神ニュータウン9条の会

[HP] <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>

[連絡先] TEL 090-3359-0776(大西)



HPへリンク